

カラー粘土であざやかな模様つけ

ベースの粘土は信楽赤土、カラー粘土は信楽上すいひ土と1:1で混ぜたものを使用した。

カラー粘土はそのまま使用してもよいが、色がとても強いということと、上すいひ土と混ぜたほうが楽赤土の収縮と近くなり、なじみがよくなるのではとの予想もあり、混ぜて使用した。



① おおまかに手で粘土を薄くして配置します。



② 砂袋や手で軽く押さえます。



③ のします。
この際、ガーゼ目をつけたいならガーゼをかぶせます。



④ 花柄をつけます。



⑤ 砂袋でおします。



⑥ のした状態。



⑦ 型の輪郭に沿ってカットします。
この方法の詳細は「簡単、お皿の
つくりかた」の項を参照してください。



⑧ あとは乾かして素焼きして透明釉を
かけて完成です。

札幌陶芸